

ひこねえ

平成二十八年度

定時総会開催

日時 五月二十六日(木)十時
会場 JAとおのライフサービス生活センター

五月二十六日(木)会員二四二名(本人出席一〇一名、委任状出席一二七名、議決権行使書提出による出席十四名)出席により平成二十八年度総会が開催されました。

留場榮一副理事長による開会の挨拶後に、佐々木明敏理事長による挨拶があり、次に在籍十年以上の方々九名に対して表彰が行われました。

受賞者を代表して第十八班の齋藤隆一さんが授与されました。

次に本田敏秋遠野市長様、新田勝見遠野市議会議長様、照井安保釜石公共職業安定所遠野出張所長様、工藤勝子岩手県議會議員様(メッセージ)から祝辞をいただきました。

続いて仮議長佐々木明敏理事長から、各議案に有する必要な定足数を満たし、総会が有効に成立する旨の報告がありました。

議長選出については、仮議長が継続して議長をとの発議され、議長に選任されました。監事の報告、報告事項(第一号報告、第四号報告)、議題(第一号議案、第三号議案)は議事全てが承認され閉会しました。

(取材 高橋 文男)



― 理事長挨拶から ―

当センターは、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、多様な地域活性、再生に密着した事業を実施しているところであり、また地方公共団体と連携し、更に地域社会に密着した公益法人として運営を展開していく必要があると思っております。

シルバー事業については、決算時における会員数は二二九名と前年と比較して十三名減。受託事業等に係る契約額は五五、八三四千円で、会員の配分金額は四九、一七一千円。二三〇万二千円の減額となりました。その多くは、単発事業であり継続として見込めない所に不安があります。

このようにシルバー人材センターを取り巻く環境は厳しいものがありますが、会員同士がワークシェアリングを図りながらも、平成二十七年でも就業率一〇〇%と共に、二年連続の事故ゼロを達成することができました。

これは、会員一人一人が頑張り抜いた証であると思っております。

シルバー事業を発展させることは、高齢者の福祉向上は元より、地域社会の発展に有益であり、今後とも就業機会の拡大のために、『親切・丁寧』をモットーにお客様に信頼され、地域に喜ばれるシルバー人材として頑張っていこうではありませんか。



会員表彰者紹介

齋藤隆一	及川フク子	堀切善三	菊池秀保	菊池昌喜	小松英喜	外川幸一	伊勢崎又男	菊池務
七十一歳	七十一歳	七十五歳	八十二歳	七十六歳	七十三歳	七十三歳	七十九歳	七十九歳
十八班 (宮守町下宮守)	十六班 (上郷町板沢)	十五班 (青笹町糠前)	十一班 (松崎町白岩)	六班 (遠野町)	五班 (松崎町白岩)	五班 (松崎町白岩)	一班 (材木町)	一班 (鶯崎町)

※ 選考規定

センターの会員として十年以上(七十歳以上)引き続き事業の発展に寄与し、業績が顕著な方に贈る。

(敬称略)



齋藤隆一(71歳 宮守町下宮守)さんは、受賞者9名を代表して佐々木明敏理事長から賞状を受け取りました。齋藤さんは、とても嬉しそうな表情で登壇し受賞されました。齋藤隆一さんの在職期間は、10年です。

報告事項

- 第一号報告
- 第二号報告
- 第三号報告
- 第四号報告

平成二十七年補正予算について
平成二十八年事業計画について
平成二十八年収支予算について
平成二十八年資金調達及び設備投資の見込みについて

議題

- 第一号議案
- 第二号議案
- 第三号議案

平成二十七年事業報告について
平成二十七年収支決算について
補欠理事の選任について

(取材 高橋 文男)

定時総会会場の一角にシルバー産直コーナーを設けてみました♪手作りストラップをお孫さんに買っていく会員さんもうらっしゃいました。

また、「シルバー産直コーナー」及び産業まつり等で販売する商品を随時募集しております。皆さんが作った野菜(日持ちする物)・豆類・手作り品等ひとつでも構いませんので、出品できる方は事務局までご連絡願います。



安全就業推進大会

定時総会終了後、同会場で安全就業推進大会を開会され、菊池攻安全衛生管理委員長の挨拶後に趣向を凝らした寸劇「蜂刺されは事故です。事務局に必ず連絡をお願いします。」と笑いを交えて訴え、会員一人ひとりが事故防止に万全を期し、「安全は全てに優先する」を改めて心に刻み、事故ゼロを継続することに、全力を尽くすことを誓い合いました。

《メモ》 蜂に刺されたとき、かゆみや発赤（ほっせき）のような皮膚炎、または嘔吐や寒気などの症状がおこることがあります。蜂毒の中にはアレルギー反応を起こす成分が含まれるため、場合によっては重症のアナフィラキシーに至る危険がありますので、医療機関で治療することをお勧めします。

（取材 高橋 文男）

（蜂の巣が）見積の時に無かったとしても、数日経てば状況は変わる。蜂の巣が出来ているかもしれないよ。だから、作業する前の点検も必ずするべきだよ。フーン



熱演する蜂役の副委員長



会員の声

六班（遠野町） 小松 喜一

第六班は、昨年十月二十六日、大日山日枝神社天満宮境内清掃（草取等）を行い終了後、社務所にて事務局より事務局長、中舘サポート事業推進員の班会議を開き、最初に説明をお聞きし、その後、質疑応答し、会員からの要望意見等を聞き会議を終了しました。昨年からは会員十三名の中、九名の参加でした。毎年一〇〇%にしたいと思っておりますがなかなか思う様にはいきません。今年こそは、一〇〇%にしたいと思っておりますので、会員の皆さん宜しくご協力お願い致します。



会員13名中9名の出席でした。木下理事も一緒にパチリ（写真下右から3番目）

交通安全教室を開催

七月一日（金）ふれあいプラザ大会議室に於いて開催された。天気に恵まれたこともあって、参加者は五十四名でした。

最初に理事長より

「全国的に七月は、安全適正就業強化月間です。昨年度は、安全衛生管理委員の努力、そして会員各々の自己管理が実り、二年連続事故ゼロが達成出来た。油断や不注意により事故が起きます。気を付けて頂きたい」と挨拶があり、続いて、菊池攻安全衛生管理委員長から

「仕事への行き帰りの車の運転に気を付けて欲しい。『十分前行動』をし、余裕を持って仕事が始められる心掛け、事故防止に務めて欲しい。事故は、自分一人だけの事ではなく、相手や、家族に迷惑をかける事になるので事故を起こさない、事故に遭わないように気をつけて下さい」との挨拶でした。その後、早速、

「高齢者の交通事故防止について」の講話がありました。

講師は、岩手県警察本部企画課高齢者

安全対策係長の岩野公伸氏で、三六歳の若い方でした。今年四月（神奈川県警白バイ部隊）より岩手県警配属になり、県内各地の交通安全教室で講演しているとの事です。

巧みな語り口調で、始終楽しい講話でした。その中で心に残った内容を箇条書き致します。

- ・平成二十七年県内一年間の交通死亡事故者 八十名
- ・その内 六十五歳以上の死亡事故者 四十七名
- ・遠野市内 死亡事故者 三名



・高齢者の死亡のうち、歩行中の事故は六割を占める

・「スリーS運動」に心掛けること。

① STOP 止まる

② SEE 見る（見える所まで移動し、一秒以上見て安全確認をする）

③ STAY 待つ（危険が無くなるまで待つ）

講話の後、引き続き、歩行シミュレーターを使用して、横断歩道を渡る体験をしました。それは、車の多い道路での適性診断でした。

私も機会に恵まれて体験を致しましたが、反省すること多かったです。安全確認に、一秒以上の時間をかけて確認していない事が多かったのです。その結果、車が来ないと判断して歩道を渡り始めて間もなく、左を確認している時に、右手の横道からバイクが来るのを察知したので、とっさの判断で駆け足で進み、事故にならずに渡り切る事は出来たのですが、反省が残りました。しっかり確認し、バイクが通った後に横断するべきだったと思います。又、渡りながらも左右の安全確認が必要な事を、再確認した体験となりました。この反省は、今後の自分に役立ってくれると思います。心して、良く確認し、危険が無くなってから横断歩道を渡りたいと思います。

まとめとして

油断は事故のもと。安全確認は左右いずれも一秒以上時間をかけて行い、止まる、見る、待つを守り、事故に遭わないようにして下さい。

元気な皆さんと、又お会いしたいと思います。と締められました。

「得るもの多し」の交通安全教室でした。

休憩の後、引き続き、

「特殊詐欺の被害防止について」の講話がありました。

講師は、語り部 菊池タキさんでした。

最初に遠野警察署防犯担当の署員から特殊詐欺についての説明がありました。

遠野では、平成十五年からオレオレ詐欺の被害があった。最近では新しい手口が増えている。昨年は、二件の発生だった。県内では二億円の被害があった。との説明でした。

講話は、昔話の語り口調で話され、五話に分けて語られました。

第一話 オレオレ詐欺の話

第二話 架空請求の話

第三話 還付金詐欺の話

第四話 金融商品の取引の話

第五話 ギャンブル必勝法の話

まとめとして

被害に遭わない為に、留守番電話にし、電話に出ないようにする事も一つの方法です。

いつ、どこで、誰が被害に遭う事になるかわかりません。私は、絶対に騙されませんと言っていている人が被害に遭う事が多い。五つの話しを思い出して、少しでもおかしいと思った時には、警察に相談して欲しいと結び終わりました。

二つの講話は、身近な内容で大変勉強になりました。今日の教えを生かし、交通事故に遭わないように気を付けたいものです。そして、又特殊詐欺についても、まず行動を起こす前に、警察に相談し、被害に遭わないようにしたいと思いがながら、反射材をおみやげに帰路につきました。

(取材 菊池 睦子)



市役所の職員と名乗る者より電話があったらど～



語り部 菊池 タキさん

おじやまします

今回は新町の遠野市民センターにお邪魔しました。ここでは、遠野市民センター来訪者の受付、案内業務を中心に派遣就業されています。

七時三〇分～十六時までは女性二名、十六時～二十二時までには男性二名のローテーションで従事されているようです。

私が取材に訪れたときは、松崎町白岩の新田勝子さんが郵便物の整理をしていました。又、松崎町白岩の佐々木洋子さんは当日使用される会議室等の貸出し案内でセンター内を走り廻っておりまし

た。当日の予定表に従い、市民からの問い合わせや内容の確認が多いので市民とふれあいながら笑顔で対応するよう心がけていますと話してくださいました。

新田勝子さんは、市役所本庁舎、遠野市民センターを含め十年以上勤務されている大ベテラン。一方、佐々木洋子さんは四月からとお話されていました。

(取材 高橋 文男)



写真 (右) 新田勝子さん (左) 佐々木洋子さん

たかむろ水光園において ボランティア活動実施

四月十四日（木）、当シルバー人材センターでは、本市の観光地「ソーラーの湯」で人気のあるたかむろ水光園で、恒例のボランティア活動を実施しました。この日は、昨夜からの雨が朝方まで降り、活動があやぶまれましたが、幸いにも実施時間までには雨も上がり、のどかな春の日差しのもとで活動することができました。

今年、ゴールデンウィークの到来前に、園内の環境整備を図って、たかむろ水光園を訪れる観光客に少しでも安らぎの雰囲気味わっていただこうとの思いから、昨年よりも一週間以上も早い活動の取り組みとなりました。

活動の参加会員は、五十四名を数え、午前八時四十分に関会宣言がなされ、佐々木理事長から活動の趣旨と安全就業について述べられました。その後たかむろ水光園を管理するふるさと公社の菊池事務局長から、活動に対する感謝のことが述べられました。そのあと園内の水車小屋を背にして、参加者全員で記念撮影をして活動開始となりました。

活動内容は、落葉や木の枝拾い、樹木の剪定及び園路等の清掃の三班編成で取り組むことになり、会員は思い思いに自分の気の向くままに作業につかれ、和やかな雰囲気の中で共に汗し、結果として、園内は見ると見るうちに、春風の中にも清楚感が漂う感じがしました。

たかむろ水光園に、多くの観光客が訪れて頂き、ソーラーの湯で心身とも癒してくれればと願うばかりです。

活動は、正午を目途に終了となり、会員は、たかむろ水光園の配慮により、ジンギスカンハウスに招かれ、遠野名物ジンギスカン定食でたらふくもてなしを受けました。

半日の活動の汗は、最後はソーラーの湯に浸かり、きれいさっぱりとした気持ちで家路につかれた会員もおられた様です。

活動に参加された会員の皆さん、大変お疲れ様でした。

（取材 菊池 民彌）



みまもい隊員募集中

できるときに できる範囲で できることをしよう

子供達の見守り活動を一緒にしてくれる人を大募集。

平成十八年から行ってきた活動も十一年目となりました。地域の子供たちをみんなで見守りましょう。新入生を迎える4月、夏休み明け、冬休み明けを重点的に活動しています。普段ステッカーを車に貼って出かけるだけ、帰り道の子供に「気を付けて帰れよ」と声がけをする。それだけでもOK。
 今年新たに隊員も増え、現在十名で活動中。



隊員紹介

隊長
副隊長
隊員

菊池	小松	幸一	喜攻
菊池	儀治	幸一	喜攻
長瀬	儀治	幸一	喜攻
佐藤	儀治	幸一	喜攻
梶原	儀治	幸一	喜攻
千葉	儀治	幸一	喜攻
菊池	儀治	幸一	喜攻
菊池	儀治	幸一	喜攻



はじめまして

六月一日付でサポート事業推進員としてお世話になっております、附馬牛町在住の阿部恵子です。シルバー会員の皆様とセンターをあらゆる側面からサポートすべく日々勉強中であります。

サポート事業推進員としてまだまだ未熟なのですが、一人でも多く、一件でも多く、新会員及び就業件数を今年度目標値に近づけることができるよう、シルバー人材センターを広く市民に知らせ、会員皆様によりよい活動のお手伝いのできたなと思うっております。

七月から、小友町をかきりに各地域訪問させていただき予定になっております。

ばったりお住まいの地域で会うこともあるかと思えます。センターのマグネットを貼った車をみかけましたら、気軽に声をかけて頂きたいです。ご指導の程よろしくお願いいたします。



今後の予定

9月下旬

ボランティア活動

10月8日～9日

遠野市産業まつり出店

11月下旬

除雪機出発式

お知らせ

「もっと仕事をしたい」という会員の皆さん、どしどし事務局に声を掛けて下さい。就業希望会員が足りないことから、規模が縮小されたり、やむを得ず折角頂いた仕事をお断りすることもあります。会員皆さんと、「共働・共助」しましょう。

新入会員の紹介

平成二十八年一月から平成二十八年七月一日までに入会された方々です。よろしく願います。

(敬称略)

十三班	十八班	十二班	十二班	一十班	十四班	十四班	十四班	五十四班	二十班	六班	十五班	一十班	二十班	二班	十五班	四班	十八班	六班	十一班	十八班		
菊池	高橋	高橋	阿部	松田	菊池	菊池	留原	藤花	立野	中池	菊池	遠藤	奥寺	永田	佐々木	海老子川	菊池	太田	阿部	松本	小野寺	吉田
長久悦	久夫	重隆	重悦	春治	勇光	清蔵	福郎	一重郎	重雄	光男	善光	七右衛門	啓蔵	善作	帝子	秀一	雅久	ユキ	一彦	より子	雄悦	

会員募集

皆さんのご近所に「この人なら会員にふさわしい」と思われる方はありませんか？毎月十日・二十五日（土・日・祝日は翌日）の午後一時三十分から入会希望者のための説明会を行っておりません。（入会するためには必ず説明会を受講して頂きます。）

「シルバー人材センターはどのようなところなの？」「どんな仕事があるの？」といった質問などお気軽にお尋ねください。



〈 編集後記 〉

第七十一回国民体育大会は、二〇一六希望郷いわて国体として、「広げよう感動、伝えよう感謝」のローガンのもとに、来る十月一日から十一日まで、岩手県各地において正式競技、特別競技及び公開競技等が開催される運びとなっている。

本市では、サッカー少年男子の競技が十月二日から六日まで開催される予定である。

思えば昭和四十五年十月に第二十五回岩手国体が開催され、その時も本市はサッカー競技会場として取り組み、一般・教員・高校の三種目の競技が行われた。市民は、遠来の大会関係者、選手の皆さんと市民総出で民宿会場や花いっぱい運動でもてなしたことが彷彿とさせる。シルバーの会員の中にも、四十六年前の岩手国体に関わった経験者もいるのではないかと思う。あの感動を思い浮かべ、二度目の岩手国体を更に盛り上げ、大会参加者に開催地遠野の感動や思い出を作っていただくため、シルバーの会員も黒子となつて競技会場の花の管理等に関わる機会があつても良いのではないかと思う。

広報編集副委員長

菊池 民彌

